

# 宮城県女川町「架橋を見据えた離島の活性化の方針検討」

## 目的・背景

### 移転元地を含めた架橋後の島全体の継続的な振興策の検討

- 女川町の有人離島「出島」の移転元地約4.3haが対象であり、令和6年12月には本土と出島を結ぶ橋が完成予定である。
- 島民の生活環境の変化や来島者の受け入れ体制、観光振興面での準備不足が憂慮されていたため、「未利用地の有効活用」と「振興施策の策定」の両軸で取り組む必要があり、令和5年度では、振興ビジョンの策定とハード整備の具体化、持続可能な運営体制の構築が必要とされた。

位置図



航空写真



## 取組とその効果

- 令和4年度のハンズオン支援で設立支援を行った官民連携組織「出島振興協議会」の活動によって、**民間事業者や地域おこし協力隊の着任による民間活動が加速化**
- 本土からの来島者をターゲットとした**観光ツアー型の実証実験**（SUP、浜焼き、ビーチクリーン）を行い、**島民サービスの継続的な活動可能性を確認**
- 島民・民間事業者・行政が協働し、出島振興協議会が**島民の海や出島に対する想いをもとに出島振興における取組方針・施策を取りまとめた**。さらに、出島のアクティビティスポット利用に向けた**マップを作成**
- 移転元地利活用の具体化に向け、**来島者受け入れ体制の整備面から方策を検討**

取組の様子



島民による浜焼き

## 取組経過

- 6～8月 ツアー型実証実験の開催・検証。
- 9～1月 出島振興における個別事業の土台となる部分や運営体制についての整理を行い、**出島振興ビジョンとして取りまとめ**。海洋資源を観光資源として活用していくにあたり、**自然環境の保全と維持管理費を確保する手法を検討**。
- 2～3月 出島振興協議会で**出島振興ビジョンの内容を承認**。また、**出島振興ビジョンに基づく振興施策や事業の具体化を協議**。

取組成果



出島振興ビジョン



IZUSHIMA ACTIVITY MAP (案)

## 今後の方向性

- 出島振興ビジョンに示された個別の振興施策や事業を推進するために、関係主体の役割分担に応じた施策検討や個別事業の具体化、持続的な運営のための資金確保策の検討及び実装**
- 個別の振興施策や事業の推進と合わせた移転元地のハード整備内容の具体化と事業推進**